

第二十一回帝國議會 院 郵便貯金法案委員會會議錄(筆記)第一回

委員成立

明治三十七年十二月二十日議長ノ指名ヲ以テ本委員九名ヲ選定ス其ノ氏名左ノ如シ

高木 龍藏君 萩野 左門君 菅澤 重雄君
小田 文行君 萩野 芳藏君 神戶 松之輔君
景山甚右衛門君 三輪 信次郎君 福島 宜三君
明治三十七年十二月二十一日午前十一時三分委員長理事互選ノ爲各委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

高木 龍藏君 萩野 芳藏君 神戶 松之輔君
三輪 信次郎君 福島 宜三君

年長者三輪信次郎君投票管理者トナル

○投票管理者三輪信次郎君 夫レデハ是カラ委員長理事ノ選舉ヲ致シマス

○福島宜三君 出席者中ノ年長者三輪信次郎君ヲ委員長ニ二年少者神戶松之輔君ヲ理事ニ願フハ如何デスカ

○投票管理者三輪信次郎君 福島君ノ發議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○投票管理者三輪信次郎君 夫レデハ私が委員長ノ席ヲ汚シ申スコトニ致シマシテ理事ニハ神戶君ガ當選致サレマシタ

會議

出席國務大臣左ノ如シ

出席政府委員左ノ如シ

遞信大臣 大浦 兼武君

遞信次官 田 健治郎君 遞信省通信局長 小松謙次郎君

○委員長三輪信次郎君 夫レデハ是レカラ引續キ會議ニ移リマス

○遞信大臣大浦兼武君 一寸私ハ本案提出ニ付キマシテ大體ノ理由ヲ述ベテ置キタ

イト思ヒマスガ此ノ郵便貯金業務ニ關シマシテハ時勢ノ進運ト經濟ノ發達ニ伴フテ其改良其擴張ヲ要スルモノガ澤山アルノデアリマスガ中ニモ現行郵便貯金條例ハ明治二十三年ノ制定ニ係ルモノデアリマスルカラ其規定往々要ヲ缺キ煩ニ失シ爾來進歩セル社會ノ需要ヲ滿タシ發達セル經濟ノ實況ニ副フヘキ各種至便ノ方法ヲ採用シテ事業ノ效用ヲ完フルコトガ出來マセヌ故ニ之ヲ改正修補致シマシテ公衆一般ノ利便ヲ圖リ且ツ機關ノ行動ヲ完全ナラシメント思フノデアリマス是本案ヲ提出致シマシタ所以デ御座ヒマス

○政府委員小松謙次郎君 本案提出ノ大體ノ主眼ニ付キマシテハ只今大臣ヨリ御說明ニナリマシタガ尙ホ各條ニ涉ル詳細ノ事由ハ私ヨリ申上ゲタイト存ジマスガ吾邦ニ於ケル郵便貯金業務ハ明治八年ノ開始ニ係リ明治十五年ニ至テ郵便條例中ニ貯

金ニ關スル規定ヲ設ケ更ニ二十三年ニ至テ現行條例ヲ制定セラレタノデアリマス、所ガ此條例ハ憲法ノマダ制定サレナイ以前ニ制定サレタモノデアリマスル故其當時ニ於テハ固ヨリ適當ト認メラレタニ相違アリマセヌケレドモ爾來幾多時勢ノ變遷ト共ニ現今ニ於ケル社會ノ實況ニ副ハサル條項ヲ見出スニ至リマシタル例ハハ貯金制限額ノ如キ現行條例制定ノ當時ニアリマシテハ一人ノ預金總額五百圓ト言フ制限ハ強チ不當ナモノデハナカッタバカリデナク寧ろ適切ノ制限デアッタノデアリマセウケレトモ爾來時勢ノ變遷ハ經濟狀況ノ上ニ著シキ進歩發達ヲ來タシ加フルニ貨幣法ハ改正サレ其結果ハ條例制定ノ當時ニ於ケル五百圓ハ恰カモ現在ノ千圓ニ相當スルコト、ナリマシテ五百圓ノ制限額ハ稍、低キニ失スルノ憾ヲ見ルニ至ッタノデアリマス又現行條例ハ英國ニ模範ヲ取リタルニモ拘ラズ最高制限額五百圓ト規定致シテアリマスルノハ英國ノ千圓ニ對シテ其半額ヲ取ッタノデアリマス然ルニ英國ハ二三年前其金額ヲ二千圓ニ改メタノデアリマスルカラ旁々以テ其制限額千圓ニ高メマスルノハ最モ適當ノコト、信ズルノデアリマス次ニ現行條例ニハ預金人ニ付テ何等ノ除外例ヲ設ケテ居リマセン隨テ營利ヲ目的トセザル公共團體等ノ預入レハ頗ル不便デアリマスルカラ改正案ニ於キマシテハ一方ニ一般最高制限額ヲ高ムルト同時ニ公共團體、社寺、學校、又ハ營利ヲ目的トセザル法人團體、產業組合等ノ預入金ニ對シマシテハ無制限ト致シ從來ノ不便ヲ除カンコトヲ期シタノデアリマス其他現行條例ニハ手續ニ關スル事項ヲ法律ニ規定シテ居リマスルカラ充分三時勢ノ進運ニ伴フ施設ヲ爲スコトガ出來マセヌ故改正案ニハ必要ナル事項ノ外ハ相成ルベク命令ニ讓リマシテ機關ノ行動ヲ自由ニシ事業ノ効果ヲ完カラシムルト謂フコトニ注意ヲ致シタノデアリマス尙ホ現行條例ニハ預金人ノ身分能力ニ關スル規定ガ甚ダ不明デアリマスカラ先年改正サレマシタ郵便法、電信法、郵便爲替法ノ例ニ依リマシテ能力ニ關スル明文ヲ設ケタノデアリマス夫レカラ現行條例ニ依リマスル郵便貯金沒收ニ關スル時効ガ甚ダ長キニ失シテ居リマシテ事務ヲ煩雜ナラシムルノ外何等得ル所アリマセヌ故改正案ニハ現行條例ノ二十ヶ年ヲ改メテ之ヲ十年ニ短縮致シタノデアリマス其他一層委シキ理由ハ御質問ニ應ジテ順次御答辯申スコトニ致シマス

○萩野芳藏君 是レハ本案ト直接ノ關係ハ持ッテ居リマセヌガ貯金業務ハ朝鮮布哇若クハ戰地野戰隊等ニ於テモ取扱ッテ居リマシヨウカ

○政府委員小松謙次郎君 韓國郵便局並ニ受取所及ヒ清國ニ於キマシテモ同ジク取扱ッテ居リマス

○萩野芳藏君 夫レデハ其レ等ノ各特別郵便局ノ貯金業務ニ關シマシテ成績ノ御調ベニナッタモノハアリマセウカ

○政府委員小松謙次郎君 只今萩野君ヨリ御尋ネニナリマシタ特別郵便局ノ貯金ニ付テハ成績ハ極メテ宜シクナイノデアリマスルガ併シ是レハ種々理由ガアル爲メデアリマシテ第一ニ貯金ノ方法ガ面倒ナ故デアラウト思ヒマス先ヅ特別郵便局ニ貯金ヲシヨウト思フモノハ領事カラ一定ノ申込書ヲ受取りマシテ夫レカラ預入ヲスルノデアリマス又第

二二ハ勸誘ノ途ガ立テ居ナイ爲メデアラウト思ヒマス要スルニ特別郵便局ノ貯金業務ハ決シテ見込ガナイデアリマセヌ却テ將來發達ノ望ミガアルノデアリマス

○神戸松之輔君 貯金ノ利子ニ付テ御尋ネテ致シマスガ現行ノ利子ト改正後ノ利子トハ其利率ヲ變更スル積リデアリマスカ

○政府委員小松謙次郎君 郵便貯金ノ利子オモ改正スル積リデアアルカトノ御尋ネデアリマスガ現行條例ニ於キマシテモ亦タ改正案ニ於キマシテモ利率ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ定ムルコトニナッテ居リマスカラ此條例ヲ改正致シマシテモ利子ノ規定トハ別段關係ガナイノデアリマス

○荻野芳藏君 第三條ノ貯金總額千圓ト言フ改正ハ先刻ノ御説明ニ依ッテ了解致シマシタガ現行條例一日ノ預金制限額五十圓カラ千圓ニマデ一躍サセタノハ如何ナル理由ガアッテデアリマスカ

○政府委員小松謙次郎君 貨幣本位ノ變更其他經濟學上カラノ理屈ハイクラモアリマスガ此改正ハ寧ロ實際上ノ理由ニ重キヲ置イタノデアリマス元來貯金殊ニ郵便貯金ノ如キハ多クハ不慮ノ災害等ニ充テシガ爲メニ之ヲ爲スノデアリマスガ其實際不慮ノ災害ニ遭遇シタ時ニ於キマシテハ大抵千圓内外ノ金ハ必要デアルト見ナケレバナラヌト思ヒマシタカラデス若シモ強テ現行條例ノ如キ制限ヲ置キマスルナラバ終ニハ貯金業務ノ本旨オモ達スルコトガ出來ナクナリハシナイカト思フノデアリマス

○福島宜三君 本案第十八條ニハ十年間郵便貯金ノ預入及拂出ナク且ツ通帳ノ提出ヲナサ、ルトキハ郵便貯金及保管ニ係ル證券ハ國庫ノ所有ニ歸スト規定シデアリマスガ續テ現行條例第十一條第二項ニハ此期間ガ二十年間トアリマス二十年間ガ十年間ニ短縮セラレタトシテ視レバドウモ預ケ人ノ權利ヲ侵サレタ様ニ思ヒマスルガ是レニハ何カ理由ガ御座イマセウカ

○政府委員小松謙次郎君 是レハ帳簿整理ノ上カラ止ムヲ得ナイ改正方デアリマシテ何分預入ノ總額四百幾十万人ノ内所在不明ヤ其他拂戻ヲ爲サ、ルモノガ殆ド三萬三千人餘ト言フ多數ニ上ルノデアリマスカラ此期間ヲ二十年間ニ致シマスルト實際ニ上其事務ノ困難ニ堪エナイノデアリマス

○福島宜三君 第四條第四號ニ振替計算ノ爲メニスル預入金トアリマスガ是レハ如何ナルモノデアリマスカ

○政府委員小松謙次郎君 現行條例ニ在リマシテハ郵便貯金ハ其預入ニ拂戻スノ一方法アルノミデ之レヲ他ノ預入ノ貯金ニ振替若クハ第三者ニ對シ拂渡ス等ノ方法ヲ認メテ居リマセヌ然レニ改正案ニ於キマシテ普通郵便貯金ノ外ニ振替計算ノ爲メニスル郵便貯金ナルモノヲ認メマシテ其預入ハ相互ニ貯金ノ振替受拂ヲ爲シ又ハ預入ノ請求ニ依リ其貯金ヲ第三者ニ拂渡シマシタリ若クハ第三者カラノ拂込ヲ預入ノ貯金ニ受入ル、等ノ方法ヲ講シマシテ一般公衆ノ利便ヲ企圖致シタノデアリマス是レガ只今福島君ヨリ御尋ネノ振替計算ノ爲メニスル預入金ト申スノデアリマス

○神戸松之輔君 夫レデアハ現金デナケレバ千圓ノ總額ヲ超エテモ宜シイト謂フ御趣意デアリマスカ

○政府委員小松謙次郎君 現金デナケレバ千圓ノ總額ヲ超過シテモヨイト言フ考ヘカ

ラ此事ヲ定メタノデアアリマセヌ、ツマリ振替ノ爲メニスル預入金ハ自分ノ意思ニ依ラズシテ他人ノ行爲カラ自分ノ貯金額ニ加エラル、コトガアリマスカラ自然破格ノ規定ヲ設ケナケレバナラヌノデアリマス

○神戸松之輔君 振替計算ノ爲メニスル預入金ニハ通帳ハ同一ノモノヲ用ユル考ヘデスカ

○政府委員小松謙次郎君 振替預金ニハ通帳ヲ用井ナイ考ヘデアリマス

○福島宜三君 貯金預入ニ付キマシテハ改正ノ結果ハ餘程便利ニ出來テ居リマスル様デアリマスガ尙ホ引出ニ付テモ同様ノ便利ガアリマセウカ

○政府委員小松謙次郎君 其拂出ニ付キマシテモ成ルベク便利ノ途ヲ取ラウトハ思ヒマシタガ併シ此點ハ十分御推察ヲ願ハナケレバナラヌノデアリマス何分四百幾十萬ト言フ預入ノ總數デスカラ……

○福島宜三君 マダ少々質問ヲ致シタキコトモアリマスルカラ委員長ドウデセウ今日ハ是レデ散會ヲ致シマシテ今一回開クコトニ願ッタラ……

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○委員長三輪信次郎君 夫レデアハ今日ハ是レデ散會ヲ致シマシテ何レ次回ハ後程公報ニテ御報告スルコトニ致シマシセウ

右終テ散會ス千時午前十時五十五分